



令和7年度 福井市安居中学校スクールプラン

R7.4.25

【福井市学校教育目標】

郷土福井に誇りを持ち
たくましく生きる子どもの育成

【教育方針】

学びをつなぐ・未来につなげる
「つながる」を大切にした学校づくり

家庭・地域の願い

- 気持ちの良い挨拶ができる子
- 地域を愛し、地域に貢献できる子
- 誠実で、思いやりのある子
- 何事にも一生懸命取り組む子

学校教育目標 志を持って 挑戦し続ける生徒の育成

【独立開校の理念】
社会参画型学力の育成
生徒が主役

校訓 めざす生徒の姿

敬愛 互いを認め、感謝と思いやりの心をもつ生徒
剛健 心身を鍛え、たくましい行動力をもつ生徒
修学 自ら学び考え、全力を尽くす生徒

めざす教師の姿

- 生徒の思いを尊重しながら学びに寄り添い、一人一人の思いを支えることができる教師。
- 生徒の学びを見取りながら、評価結果を適切に生徒に返し、学びの意欲を引き出し、高めることができる教師。
- 学び合う姿勢を体現できる教師。

研究主題 Agency への挑戦 ～ 主体的な AAR サイクルの活用を目指して ～

Anticipation <見通し>と Action <行動>と Reflection <振り返り>の探究型学びのサイクルで Agency を育む

自己を見つめ生き方を探る

「My Learning」

重点目標②

- 自己の変容や学びを語り合い、アドバイスし合う活動を通じてかけがえのない自己を認識し、なりたい自分や生き方を探る。
 - ・体験を通じた自らの学びを、異学年で語り合う。
 - ・自分の学びのプロセスをつかむ振り返り力を高める。
 - ・自分たちの生活をよりよくする活動に取り組む。
- ★生徒は、自分の変容を分析し自己を認め、半年後になりたい自分を見つけようとしている(80%以上)。
- ★教師は、生徒に振り返る視点を提示し、プロセスを評価する言葉かけを行っている(80%以上)。

「主体的・対話的で深い学び」の追究

重点目標①

- 課題を見いだし一人一人が主体的に考え、協働探究する中で学びを深め、省察によって向上する。

- ・「全校一体型教科センター方式」を活用して学びを深める。
- ・教科における探究的なサイクルを活用した学びを展開する。
- ・「考え、議論する」道徳教育を推進する。
- ・I C T 機器を活用する（個別最適化・協働の学び）。
- ・公開研究会を行い、多様な学びの交流を行う。
- ・校内授業参観を互いに行い、学びを見取る力を授業に生かす。

★生徒は課題に向かって主体的に考えている(80%以上)。

★教師は、付けたい力を明確にしながら、授業デザインに見取りを生かしている(80%以上)。

協働で挑戦する「プロジェクト学習」

重点目標③

- 生徒の発意に根ざしたプロジェクト学習を、地域資源（地域風土・文化・人等）を活用しながら、生徒主体で推進する。
- ・プロジェクト学習一覧表を作成して地域に発信し、学校内外の様々な立場から学びを俯瞰・交流する。
- ・学校の日常的公開、教育情報発信をする。
- ★生徒はプロジェクト学習で学んでいることを自分の言葉で表現できる(80%以上)
- ★教師は、生徒が挑戦できるように見通しを持たせた話し合いの場を設定したりするなど適切なアドバイスを行っている(80%以上)。

【業務改善】○定期テストの年間実施回数を3回とする。○定期テスト日の午後を校務優先日とする。○週案を活用し計画的な業務運営を行う。

○超勤80時間以上の教職員は0人。○年休を年間で11日以上取得する。○職員会議・企画委員会等の効率的実施。○ICTを活用した校務運営の推進。